学びの広場

●公民館活動　●生涯学習
●文化振興　●学校　●スポーツ

地域で学び、活動する
皆さんを応援します

北秋田市
教育委員会

問…問合せ先
申…申込先

受講者募集「公民館講座」

講座の受講を希望される方、詳細をお尋ねになりたい方は各公民館までお申し込み、お問い合わせ下さい。

■「家庭介護講座Q＆A」

開催日　3月11日(水)
時間　10時～正午
場所　ふるさと文化センター
内容　自宅で出来る口腔ケアと介護動作などについて
講師　北秋田市社会福祉協議会職員
対象　どなたでも参加できます
申問　阿仁公民館☎82-2220

■「ひな節句の料理講座」

日時　2月28日(土)
時間　午前9時30分～午後1時頃
場所　北秋田市中央公民館
定員　20人(先着順)
講師　田村弘子さん
内容　ひな節句のお料理3品(生ちらし、ハマグリのお吸物、春の和え物)を作ります
参加費　材料代　1500円程度
持ち物　エプロン・三角巾・筆記用具
申込期間　2月16日(月)午前9時から2月19日(木)午後5時まで。ただし定員になり次第締め切ります。
申問　中央公民館☎62-1130

■「白神こだま酵母パンづくり体験講座」

日時　3月6日(金)
時間　8時30分～16時時頃
場所　あきた白神駅隣接『緑地等管理中央センター』※バスで送迎します(詳細は別途通知)
内容　白神こだま酵母を使ったパン作り体験
講師　あきた白神観光駅長
材料代　1000円程度
定員　10人(先着順)
持ち物　エプロン、三角巾、筆記用具、昼食
申問　合川公民館☎78-2114

■「第2回合川ろばた講座」

日時　2月24日(火)
時間　13時間30分～15時30分
場所　合川農村環境改善センター
内容　「この時代・この人～地域おこしとイベントの創出」
講師　木越恵勇さん
対象　どなたでもお気軽にご参加ください。
申問　合川公民館☎78-2114

わだい

楽しいレクでリフレッシュ！

北秋田地区ロングライフアドバイザー連絡協議会公開講座

北秋田地区ロングライフアドバイザー連絡協議会主催の公開講座が1月19日、中央公民館を会場に行われました。

スポーツサークルで活動している方など約70人が参加、音楽に合わせて楽しく体を動かすレクリエーションで心地よい汗を流しました。

日本女子体育連盟社会体育ダンスムーブメント指導員・大友友子さんの指導でのびのびと手足の運動を展開。ダンスと互いの交流で有意義な時間を過ごしました。冬場の運動不足解消にも大いに役立ったのではないでしょうか。

協議会では、このほかにも健康と生きがいづくりをお手伝いする事業を行っています。あなたも参加してみませんか。

問　北秋田地区ロングライフアドバイザー連絡協議会　伊藤保之さんまで☎63-0003

わだい

園児と世代間交流

合川ことぶき大学『新春お茶会』

高齢者講座・合川ことぶき大学の趣味講座「新春お茶会」が1月21日、合川農村環境改善センターで開かれ〝大学生〟ら約60人が参加し抹茶に親しみました。

新春お茶会は、イスとテーブルによる気軽にお茶を楽しめる茶席で、あいかわ保育園年長児との交流も兼ねた恒例行事となっています。

大学生と園児が互いにお菓子とお抹茶をお運びし、もてなしながら作法を学びふれ合い、新年を迎え気持ちも新たにお茶会を楽しみました。

▲園児からかわいいおもてなしを受けました

火災から貴重な文化財を守ろう

文化財防火デー「火災想定訓練」

1月26日は「文化財防火デー」。前日の25日、昨年12月に国指定有形重要文化財になった「金家住宅」で火災想定訓練が行われました。

金家住宅は、和館と洋館が好対照をなす東北地方では数少ない大型の和洋並列住宅。近代和風建築として、秋田県では初の指定となりました。

訓練には市教育委員会職員、本城自治会、消防団森吉支団第2分団、地域住民など約80人が参加。教育委員会職員の案内で和館を見学中、文庫蔵への渡り廊下付近から出火、教委職員、地域住民及び消防署、団が連携して避難誘導・消火に当たるという想定で行われました。

119番通報後、来館者の避難誘導、消火器・バケツリレーでの初期消火、消防署・団による消火という流れで行われました。

訓練終了後には、消防署員から地域住民を対象に消火栓を使用した放水要領、住宅用火災警報機の設置についての説明を受けました。参加者は、地域の文化財を守ろうと、真剣なまなざしで訓練していました。

▲国指定重要文化財・金家住宅で行われた防火訓練。消防署・団をはじめ多くの地域住民が参加しました

ふるさとの文化財 12

県指定有形文化財

「魚形文刻(ぎょけいもんこくせき)石」

所在地　北秋田市根子館下段44(根子小学校跡)
管理者　北秋田市教育委員会

「魚形文刻石」は、大正年代根子字館下段79番地佐藤敬吉氏の屋敷内から発見されました。今は廃校になった根子小学校の左側の高台、メタセコイヤーの巨木の後ろの建物に大切に保存されています。

石の大きさは、高さ1・5m、底径63cm、厚さ50cmの安山岩に、現在はよく読み取れませんが、一尾13～32cmの魚の絵が2面に十尾ほど線で書かれています。時代はよく分かりませんが、近くに縄文時代中期の根子遺跡があることから、その時代のころのものと考えられています。秋田県内には子吉川流域、雄物川流域にも同じような刻石があり、県指定文化財になっています。

縄文時代、サケ・マスの大群が産卵のため小猿部川をのぼったと言われますが、同地区でも縄文時代の人々が貴重なタンパク源を確保するため、神に祈った様子が浮かんできます。マスは初夏及び真夏の漁獲期で「夏川漁」、サケは9月から12月が多く捕れる「秋川漁」と言われています。北秋田市栄字田沢地区に「ソコベ沢」という地名がありますが、米代川から田沢川に産卵のためのぼってきたマスを漁獲したところという意味です。

近所に住む老夫婦の話によると、子どもの頃よく石に登り魚をなぞったりして遊んでとても叱られた記憶があるという。地区内では「鮭石」と呼び親しまれていますが、現在訪れる人も多くなく、静かな自然のなかで縄文時代を物語っています。

▽昭和30年1月県指定有形文化財(考古)
▽資料／「あきたの史跡・考古」(秋田県教育委員会)／「説明板」　他
▽紹介者／北秋田市文化財保護審議委員　照内捷二

▲魚形文刻石(鮭石)